

平成29年度 学校評価表

江津東小学校

学校教育目標:心豊かで明るくたくましい東っ子の育成

めざす子ども像: ひとにやさしくできる子(徳) がんばって学ぶ子(知) しんが強くたくましい子(体)

		中期経営目標	短期経営目標	達成のための方策	評価指標	目標値%	自己評価					結果と課題の説明	学校関係者評価		改善計画	
							アンケート				評 価		コ メ ン ト	評 価	改 善 案	
							教職員	児童	保護者	地域						
1	豊かな心づくり	人間尊重の精神に基づいた教育を推進する	人権・同和教育の充実	・教職員の研修(進路保障の取り組み) ・便り等による保護者への啓発 ・全教育活動における人権・同和教育の視点を明確にする	教職員の研修を計画的に実施した。 人権・同和教育に視点を当てた授業を行った。 活動計画の中に人権・同和教育の視点を明確にした。	80%	100%	94%	99%	100%	A	教職員研修や授業は計画的に行うことができた。人権・同和教育の視点は活動計画の中に入っていたが、明文化はできなかった。	充実した取組ができています。今後も継続していく努力を続けてほしい。	A	活動計画の中に、人権・同和教育の視点を示す。	
2			よりよい生き方をめざす道徳教育の充実	・資料や題材の工夫と活用 ・道徳の時間と日常生活の連携を図る。	・年間指導計画にもとづいて計画的に指導した。 ・道徳コーナーを設置した	80%	100%	87%	96%	100%	A	計画に沿って実施でき、研究授業などでも研修することができた。道徳コーナー設置も実施でき、充実することができた	充実した取組ができています。今後も継続していく努力を続けてほしい。	A	道徳の別葉をもっと意識して活用する。	
3			特別支援教育の充実	・校内支援体制の充実 ・個別の指導計画、支援計画の作成	個別の支援ができるように、特別支援教育コーディネーターと連携を図った。	80%	56%	90%	96%	100%	B	コーディネーターが担任と兼ねているため、なかなか打ち合わせ等の連携をとることができなかった。	努力しながら引き続き取り組んでほしい。	A	日にちや時間をあらかじめ設定し、時間をしっかり確保する。	
4			コミュニケーション力の向上	・人間関係構築力を学ぶ赤ちゃん登校日 ・伝え合いを意識した授業を積極的に取り入れる ・学級通信等で保護者へ啓発	伝え合う力の育成をめざした学習活動を取り入れ、コミュニケーション力の向上を図った。	80%	100%	88% 91%	92%	92%	A	研究とも関連させていたので、学習の場面だけではなく、様々な機会でも育成することができた、成果があった。	向上が認められる。よい取組なので赤ちゃん登校日はぜひ続けてほしい。	A	「話す・聞く・伝える」について、学年の系統性を明確にする。	
5	確かな学力づくり	基礎・基本の定着を図り、考える力を育成する	基礎的・基本的内容の定着	・東っ子チャレンジ会(漢字、計算) ・書写タイム ・朝学習	・東っ子チャレンジ学級平均80点以上 ・データをとって、基礎・基本の定着を継続的に確認した。 ・朝学習に基礎・基本的な学習に取り組んだ	80%	100%	85%	90%	/	A	概ね達成できたが、個人差がある。個人差への対応が十分でなかった。	向上していると感じる。引き続き努力をお願いしたい。	A	個人差に対応できるようなプリントを準備し、学年をこえて学習できるような環境を整える。	
6			魅力的で創造的な授業づくり	・粘り強く学び、思考力を高める学習 ・学習課題を明確にした授業づくり	思考力を高める授業を行った。 学習課題を明確にした授業を行った。	80%	100%	91%	87%	/	A	学習課題に向け、個人思考を促すような授業をすることができた。	子どもの意識の向上が認められる。	A	ふり返りの時間を確保し、学習への意欲を高める。	
7			図書館活用教育の充実	・読書指導の充実 ・司書教諭と連携した授業の実施 ・学級通信等で保護者へ啓発	1人あたりの平均貸出冊数 90冊 司書教諭と連携をとって図書館を活用した授業の回数(2回以上)	80%	80%	75%	/	/	B	90冊には届かなかったが、貸出冊数は昨年度と比べて増えている。司書教諭と連携をとって図書館をしっかり活用した。	今後努力の継続をお願いしたい。	B		
8			家庭学習の定着	・家庭学習カードの活用(学年×10分) ・家庭学習の手引きの活用 ・学習課題の充実	(学年×10分)の達成率 80%	80%	91%	80%	75%	/	B	基礎基本の定着をめざした課題を続けることにより、ある程度の定着は達成できた。定着したことを生かすような課題など内容を深めることが不足していた。	家庭学習の内容、時間の工夫をしてほしい。家庭と連携をとる努力をお願いしたい。	B	発展的な内容も含んだ課題など、いろいろなパターンを考え、課題の内容を深めていく。	
9	たくましい体づくり	基礎体力の向上をめざし、健康で安全な生活をする	基本的な生活習慣の定着	・あいさつ、返事 ・はきものそろえ ・生活目標への位置づけ、児童会活動と連携して行う	・元気にあいさつ、返事ができた ・くつ箱、トイレスリッパをそろえることができた	80%	100%	85% 89%	92%	92%	A	くつそろえは必ずいぶん意識してできるようになってきたが、後はまだ十分とはいえず、課題である。		A	児童会活動の取組で意識付けをしていく。	
10			体力づくりの推進	・体力向上推進計画の共通理解と徹底 ・しまねっこ元気アッププログラムへの参加 ・児童会活動との連携した活動の実施	しまねっこ元気アッププログラムでの記録が伸びた子の割合(80%)	80%	100%	65%	74%	/	B	体育の授業で取り組んでおり、記録よりもできることに主眼をおいているので、できる種目も増えてきた。		B	記録よりできたことについて質問するなど、文言を検討していく。	
11			給食指導、食育の推進	・栄養教諭による食の学習 ・日常給食指導の充実	日常給食指導を行うとともに、栄養教諭と連携した食の学習を計画し、実施した。	80%	100%	89%	92%	100%	A	どの学年も1回は栄養教諭の先生から食の学習をしており、充実した取組ができた。		A	引き続き取り組んでいきたい。	
12			なかよし班活動の充実	・異学年交流で、交流する場を計画的に作る ・感情交流の場面を意図的に作る	・なかよし班で活動した回数(学期に1回) ・感情交流の場面を必ず設けた。	80%	100%	91%	88%	/	A	集会等でなかよし班での活動を計画的にできた。行事や研究を絡めて「キラリコーナー」など感情を交流する場を設定することができた。	学年をこえてなかよくしている。今後も充実させてほしい。	A		
13	信頼される学校づくり	家庭、地域との連携を密にし、よりよい教育を提供する学校づくりを進める	ふるさと教育の充実	ひと、もの、ことを活かした学習 ・各種校外学習、体験学習 ・生活科、社会科、総合的な学習	・地域のひと・もの・ことを活かした学習を行った回数(昨年度並み)	80%	100%	/	95%	100%	A	低中学年は地域に出かけて調べ学習に取り組んだり、高学年は地域の方を招いて話を聞いたりして、十分取り組むことができた。	今後も充実させてほしい。	A		
14			積極的な学校公開の場、情報発信	・東っ子を語る会 ・授業公開日 ・各種便りの発行 ・学校評価の公表	積極的に学校公開の場をもった。学校日より、学級日より定期的に発行した。	80%	100%	/	96% 99%	100%	A	計画していた回数を実施することができた。学校日より定期的に発行することができた。学級日よりについては回数は違うがどの学年も定期的に発行することができた。	ホームページの有効活用してほしい。	A	何を伝えるかという内容についても工夫していく。	
15			保小中の連携の推進	こども園、中学校との計画的な連携 ・交流活動 ・授業交流(外国語活動、算数等) ・連携担当者による情報交換	こども園や中学校との連携計画を立て積極的に実施した。	80%	90%	/	96%	100%	A	こども園とは低学年とおもちゃまつりや一日入学などで交流を図った。中学校とは授業参観や同和問題学習についての情報交換など取り組んだ。小中合同の取組も充実することができた。		A	引き続き取り組んでいきたい。	
16			学校評価の充実、教職員評価システムの充実	・校内研修の充実 ・教職員の連帯感の高揚	積極的に研修に参加し、指導力の向上に活かした。	80%	100%	/	/	/	A	外部講師をよんで話を聴いたり、指導をしていただいたり、指導力向上を積極的に図った。		A	引き続き取り組んでいきたい。	

A:目標値をすべて達成 B:いずれかが目標値を下回る C:2つが目標値を下回る D:すべて目標値を下回る